

10月の育児講座で兄弟の子育てでの悩みを聞いてみました。

Q:上の子と下の子両方から抱っこを求められると困ってしまう事があります。何歳まで抱っこをしてあげればよいですか。

抱っこをしてもらいたいと言う気持ちは何歳になってもあるようです。子どもは、抱っこされることで人のぬくもりを感じ、安心できるので抱っこが大好きなのです。育児講座の中では何歳までという事はなく、本人が嬉しいと思うのであれば、出来る限りそのような時間は取ってあげても良いのではという意見が出ました。触れ合うことは子どもの気持ちの安定にもつながってくると思います。抱っこをしてもらいたい、触れ合っていたいと思う時期は案外短いものですよ。園ではわらべうたで手と手で触れ合ったり、膝に乗せて触れ合う遊び等を行いながら、個別に語りかけて遊ぶ時間を設けることで安心できるように心掛けています。

ご家庭でも触れ合うことから始めてみるはどうでしょうか。

つぶやき

先日、1歳児の子が「だめだよ」と強い口調で友だちに言っているのを聞いてハッとしてしまいました。子どもは繰り返し聞いた言葉や印象に残っている言葉を真似します。大人の言い方を真似しているのだとしたら、もしかしたら自分たちも強い口調になってしまっているのかもしれない...そう思いました。

ご家庭でも、何でこんな言い方をするのだろうと思い、思い返すと「自分がよく使っている言葉!!」と気づいたことはありませんか?大人が何気なく使っている言葉を子どもが知らず知らずのうちに使っているかもしれません。

言葉を獲得する乳児の時期、子どもには正しくてきれいな言葉を覚えてほしいですね。大人も言葉を選び、日々言葉の使い方に気をつけながら、美しい日本語を使うよう意識していきたいものです。



子育て情報誌

むこうはらだより

No4 東大和市向原1-4-2

042-563-3833

<http://www.mukouharahoikuen.com/>

少しずつ風も冷たくなり、冬の気配も感じられる今日この頃です。保育園の子どもたちは寒くなっても元気いっぱい!園庭や公園等で体を動かしたり、自然に触れたりして遊ぶ姿が見られます。朝晩は冷えこむこの季節、体調に十分に気を付けて、これからの季節に備えたいですね。



育児講座 ご案内 要予約制です

時間 10:00~11:00

場所 向原保育園

対象 未就学児

※ お申込みは、前日までにご連絡ください。



日程・内容

第6回目 12月19日(水)

「大人のクッキング」

今年度はこれで最後になります。

来年度も楽しいものを計画したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

体験保育 ご案内 要予約制です

お子さんと同年齢のクラスに

親子で入り、過ごします。

時間 0~2歳児 午前9:30~11:00

(食事前まで)

3~5歳児 午前9:30~11:30

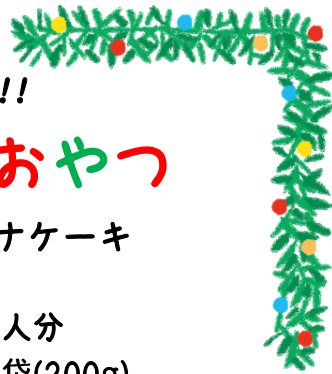
(希望により食事まで)

対象 未就学児

随時受け付けています。

事前にお電話にて予約してください。





アレルギーの子も食べられる!!

クリスマスのおやつ

牛乳・卵使わないバナナケーキ

<材料>	4人分
ホットケーキミックス	1袋(200g)
豆乳	150cc
オリーブオイル	大さじ2
砂糖	大さじ2
バナナ	2本

①バナナ1/2本分飾り用にスライス
残りはフォークで潰す

②ホットケーキミックス、豆乳、オリーブオイル、砂糖を入れて泡立て器で混ぜる

③潰したバナナと②を合わせる

④オーブンを180℃で予熱しておく
鉄板に生地を流し入れて、スライスしたバナナを飾り20分焼いたら完成



保育園の子どもたちの玩具&あそび

今回は向原保育園の子どもたちが遊んでいる玩具や遊びについて紹介します。

乳児(0、1、2歳の玩具)

同じ遊具でも年齢に応じて太さを変えることで、様々な遊び方が出来ます。チェーンは子どもたちにも人気のある玩具の一つです。



0歳児では、手で握ったり口に入れて感触を楽しんでいます。1、2歳になると皿の上に乗せて様々な物に見立てて、ままごと遊びを楽しむ事が出来ます。容器の中に入れて、スプーンなどでかき混ぜたりして遊びます。



2歳のあそび (病院ごっこ)



病院ごっこが好きで、本物の薬の容器や袋、聴診器を使い、赤ちゃんの人形を相手に自分が病院で経験したように、お腹に聴診器をあてて「どこか痛いですか?」など話しかけながら楽しんでいます。

最近では友達同士で病院ごっこを楽しむようになり、「次の方どうぞ」「今日はどうしたんですか?」

「口を開けて下さい」などと医者と患者になり、やりとりを楽しんでいます。病院にあるもので道具がない時には、小さな木のスプーンを体温計に見立てたり、チューブ容器のキャップ(銀色に光っている)をライトに見立てたりして口の中を覗いたり子どもたちの自由な発想の中で遊びが盛り上がっています。

幼児のあそび

幼児の遊びは乳児の機能練習遊びから変化し、自分が生活の中で体験したことを遊びの中で再現し役割をもった遊びになっていきます。そのためこれがクラスで人気の遊具という物はあまりなく、クラスにある沢山の遊具の中から再現したい内容によって子どもたちが選んで遊びの空間を準備していきます。再現したい内容によって選ぶ遊具もその子その子で変化します。クラスの遊具は子どもの体験を知り、再現したり役割を持って遊んだりしたくなるような道具を用意するようにしています。そのため乳児クラスより具体的でより本物に近い遊具が沢山あります。(例えば、ランドセル・車のハンドル・料理の食材や食器等)

また、クラスのなかに道具がなければ工作をして作ることもあります。遊びの中で何が必要なのか、どんな材料を使ったら作れそうか、大人も協力してアイデアを出しながら作っていきます。自分たちで遊びの道具を作り上げる創造的な活動も子どもたちは大好きです。



積み木で作った回転すし



盆踊りごっこ
奥にはかき氷屋さんもできています



ついでに、椅子、ハンドルで車作り
赤ちゃんも連れて
みんなでお出掛けです



コンサートごっこ
チケットは自分たちで
作ってお客さんを誘います